

キャンパス・ハラスメントに関するアンケートの調査結果について

キャンパス・ハラスメント防止委員会

本学では、キャンパス・ハラスメント防止に関するガイドラインの設置や、教職員を対象に講演会を開催するなど、防止活動に努めております。また、新たにキャンパス・ハラスメントの相談窓口を外部にも設けるなどの取組みや、キャンパス・ハラスメントに関する実態を把握し、本学の教育・職場環境の改善を図ることを目的にアンケート調査を実施しております。

今回、教職員に加えて学生も対象としたアンケート調査を平成26年10月に実施し、その集計を行いましたので、結果を以下に報告致します。

アンケート実施期間：平成26年9月30日～10月31日

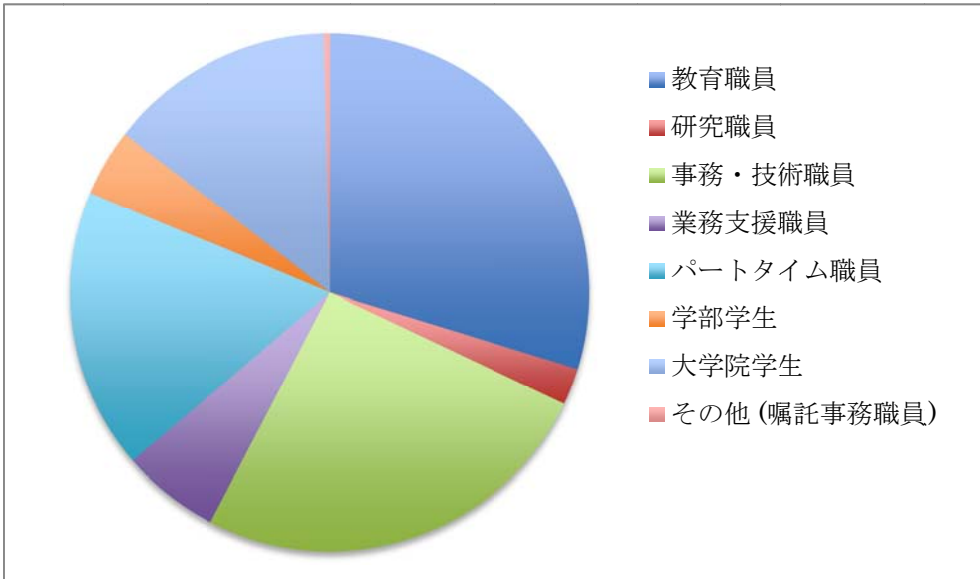
アンケート方法

：Webによる設問・回答方式

アンケート回答者総数：269名（教職員・学生等の本学関係者）

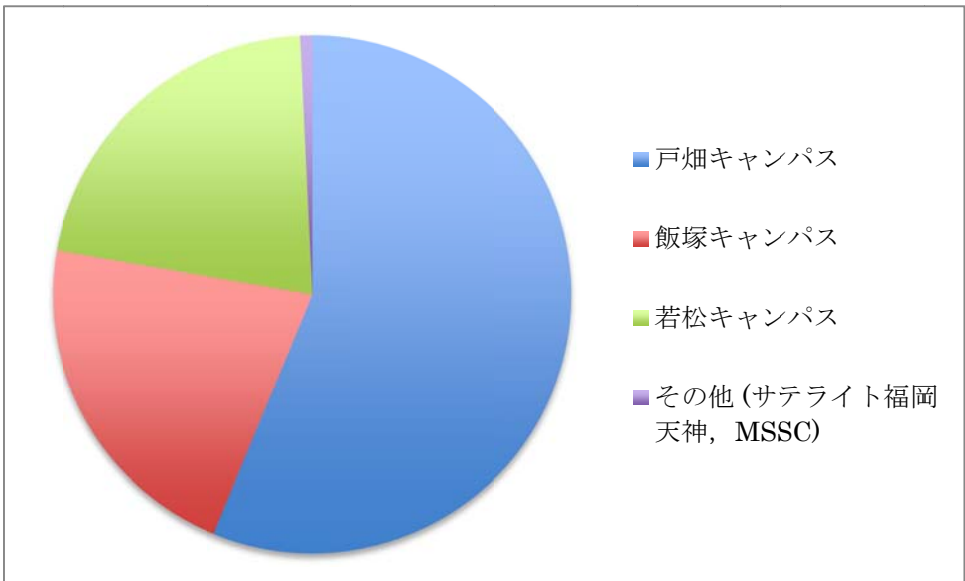
1. あなたの性別をお教えてください。	回答数	割合(%)
男性	172	67.4
女性	83	32.5
計	255	
	14	(未回答)

あなたは次のうちどれに当てはまりますか。	回答数	割合(%)
教育職員	78	29.7
研究職員	6	2.2
事務・技術職員	67	25.5
業務支援職員	16	6.1
パートタイム職員	46	17.5
学部学生	11	4.1
大学院学生	37	14.1
その他(嘱託事務職員)	1	0.3
計	262	
	7	(未回答)

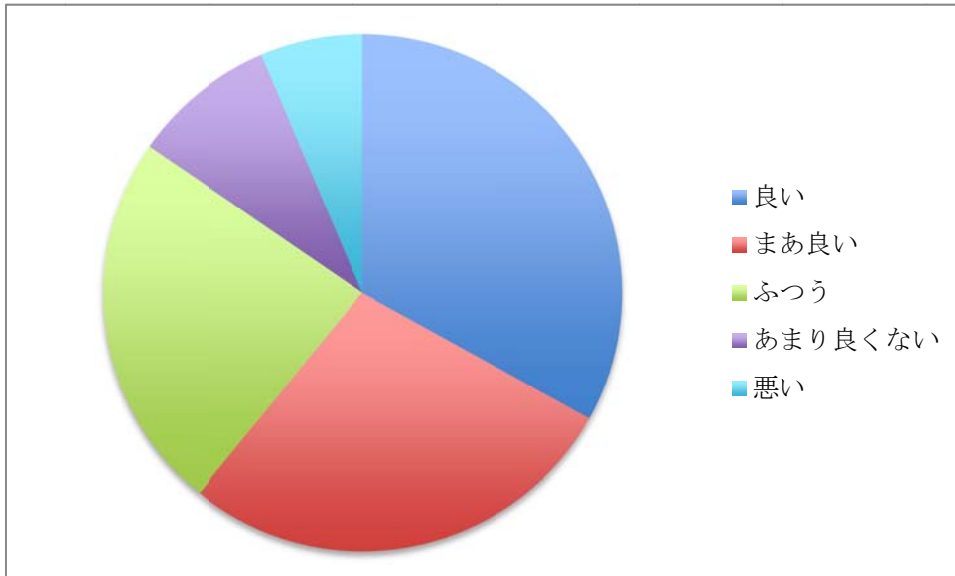


今回のアンケート回答者は、教職員が約3割、事務系・技術職員が約5割、学生が約2割でした。

あなたが主として属しているキャンパスはどこですか	回答数	割合(%)
戸畑キャンパス	149	56.2
飯塚キャンパス	57	21.5
若松キャンパス	57	21.5
その他 (サテライト福岡天神, MSSC)	2	0.7
計	265	
	4	(未回答)



現在のあなたの職場環境または学習環境はいかがですか。	回答数	割合(%)
良い	88	33.0
まあ良い	74	27.8
ふつう	63	23.6
あまり良くない	24	9.0
悪い	17	6.3
計	266	
	3	(未回答)



およそ15%の回答者が、不満に思っていることがわかります。

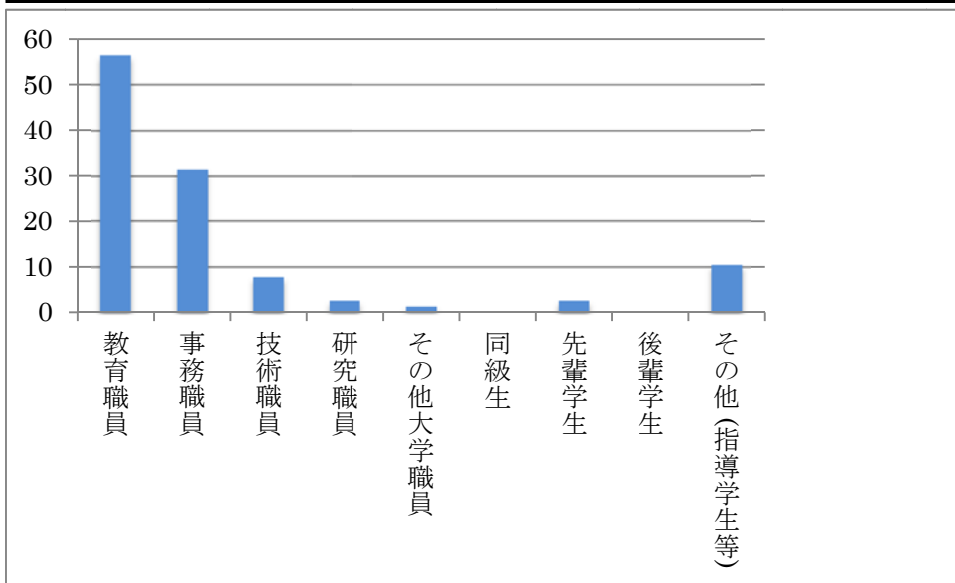
5. あなたは大学内でハラスメントと感じた次のような体験をしたことがありますか。もしあれば、それはあなたにとってどの程度深刻でしたか。							
頻度について	ない	まれにある	たびたびある	いつもある	回答数	うち、あるの合計	その割合
①言葉の暴力と言えるようなひどい非難叱責を受けた	141	45	8	1	195	54	27.6
②事実無根のうわさを流された	159	26	8	2	195	36	18.4
③私生活に干渉するようなことを言われたりされた	166	19	9	1	195	29	14.8
④教育・研究とは関係ないと思われる私的な用件を命じられた	179	9	0	3	191	12	6.2
⑤非常識な時間に実験や研究を命じられたり呼び出されたりした	179	9	1	1	190	11	5.7
⑥学業・研究・業務等を妨害するような言動を受けた	162	22	8	2	194	32	16.4
⑦学業・研究・業務等に関して自分だけ不当な扱いを受けた	164	14	7	4	189	25	13.2
⑧容姿・年齢・交友関係等に関して、執拗に聞かれたり、話題にされたり	177	11	1	1	190	13	6.8
⑨性的な会話を聞かされたり、性的な絵や写真等を研究室等で掲示されたり、目に入るような場所に置かれたりした	181	8	2	1	192	11	5.7
⑩不必要に身体に触られた	186	4	1	0	191	5	2.6
⑪性的な内容の手紙、電話などの行為やストーカー的な行為をされた	190	1	0	0	191	1	0.5
⑫地位・立場を利用して、交際や性的関係を求められた	189	1	1	0	191	2	1.0
程度について	深刻ではなかった	少し深刻	かなり深刻	回答数	深刻の合計	その割合	あるとした中での割合
①言葉の暴力と言えるようなひどい非難叱責を受けた	17	24	20	61	44	72.1	81.4
②事実無根のうわさを流された	22	18	6	46	24	52.2	66.6
③私生活に干渉するようなことを言われたりされた	24	15	2	41	17	41.5	58.6
④教育・研究とは関係ないと思われる私的な用件を命じられた	23	3	3	29	6	20.7	50.0
⑤非常識な時間に実験や研究を命じられたり呼び出されたりした	21	6	1	28	7	25.0	63.6
⑥学業・研究・業務等を妨害するような言動を受けた	15	17	11	43	28	65.1	87.5
⑦学業・研究・業務等に関して自分だけ不当な扱いを受けた	17	8	10	35	18	51.4	72.0
⑧容姿・年齢・交友関係等に関して、執拗に聞かれたり、話題にされたり	21	5	1	27	6	22.2	46.1
⑨性的な会話を聞かされたり、性的な絵や写真等を研究室等で掲示されたり、目に入るような場所に置かれたりした	26	1	2	29	3	10.3	27.2
⑩不必要に身体に触られた	22	1	1	24	2	8.3	40.0
⑪性的な内容の手紙、電話などの行為やストーカー的な行為をされた	20	0	1	21	1	4.8	100.0
⑫地位・立場を利用して、交際や性的関係を求められた	19	0	1	20	1	5.0	50.0

ハラスメントと感じたもので最も多かったのは、「①言葉の暴力といえるようなひどい非難叱責を受けた」であり、54名(アンケート回答者総数269名の約20%)の回答者がいました。次いで、「②事実無根のうわさを流された」「⑥学業・研究・業務等を妨害するような言動を受けた」、「③私生活に干渉するようなことを言われたりされた」の順となっています。また、感じたことがあるとしたそれぞれの事項に対して、半数以上の人がある程度が深刻だったと回答しているものは、「①言葉の暴力」、「⑥学業・研究・業務等の妨害」、「②事実無根のうわさ」、「⑦不当な扱い」と「③私生活に干渉するようなことを言われたりされた」となっています。

6. Q5の質問のうち、あなたにとって最も深刻だったことはどの質問ですか。 (Q5の質問で該当がない場合は、Q12までスキップしていただいて結構です。)		
Q5の質問項目	回答数	割合(%)
①言葉の暴力といえるようなひどい非難叱責を受けた	29	43.2
②事実無根のうわさを流された	11	16.4
③私生活に干渉するようなことを言われたりされた	5	7.4
④教育・研究とは関係ないと思われる私的な用件を命じられた	2	2.9
⑤非常識な時間に実験や研究を命じられたり呼び出されたりした	3	4.4
⑥学業・研究・業務等を妨害するような言動を受けた	3	4.4
⑦学業・研究・業務等に関して自分だけ不当な扱いを受けた	10	14.9
⑧容姿・年齢・交友関係等に関して、執拗に聞かれたり、話題にされたりした	1	1.4
⑨性的な会話を聞かされたり、性的な絵や写真等を研究室等で掲示されたり、目に入るような場所に置かれたりした	1	1.4
⑩不必要に身体に触られた	1	1.4
⑪性的な内容の手紙、電話などの行為やストーカー的な行為をされた	1	1.4
⑫地位・立場を利用して、交際や性的関係を求められた	0	0
計	67	

最も深刻だったものは、やはり「①言葉の暴力」であり、次いで「②事実無根のうわさを流された」となっています。

7. Q5の質問のうち、最も深刻だったことの原因となった相手はどのような人ですか。(複数回答可)	回答数	割合(%)
教育職員	43	56.5
事務職員	24	31.5
技術職員	6	7.8
研究職員	2	2.6
その他大学職員	1	1.3
同級生	0	0
先輩学生	2	2.6
後輩学生	0	0
その他(指導学生等)	8	10.5
回答者数	76	
	193	(未回答)

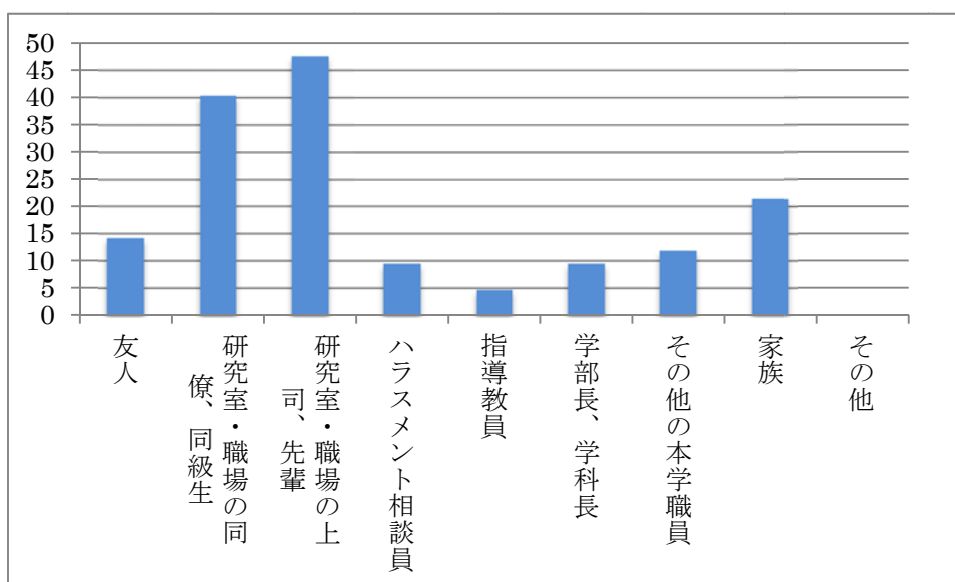


原因だった相手としては、教育職員が多いことがわかります。

8. Q5のような体験をされた時、あなたはどのような対応をしましたか。	回答数	割合(%)
①相談した	41	54.6
②相談しなかった	34	45.3
計	75	
	194	

55%の人が、誰かに相談したと回答しています。

Q8で「①相談した」を選択された方は相談相手を選んでください（複数回答可）	回答数	割合(%)
友人	6	14.2
研究室・職場の同僚、同級生	17	40.4
研究室・職場の上司、先輩	20	47.6
ハラスメント相談員	4	9.5
指導教員	2	4.7
学部長、学科長	4	9.5
その他の本学職員	5	11.9
家族	9	21.4
その他	0	0
回答者数	42	
	227	



相談相手には、研究室・職場の上司・先輩，研究室・職場の同僚・同級生，友人，が多く，家族が続いています。ハラスメント相談員や指導教員は少ない結果となっています。

Q8で「②相談しなかった」を選択された方は理由を選んでください。(複数回答可)	回答数	割合(%)
比較的軽微な被害だったので我慢した	8	20.0
一過性だと思えたから	7	17.5
相手に自分の意思を示したところ、相手の対応に変化が見られたから	2	5.0
このようなことを人に相談しても相手にされないと思ったから	8	20.0
相談にのってくれそうな人やハラスメント相談員が誰かわからなかったから	3	7.5
相談しても解決できそうに思えず、我慢するしかないと思ったから	14	35.0
自分の立場が危うくなると思ったから	11	27.5
その他(具体的に)	8	20.0
計	40	
	229	(未回答)

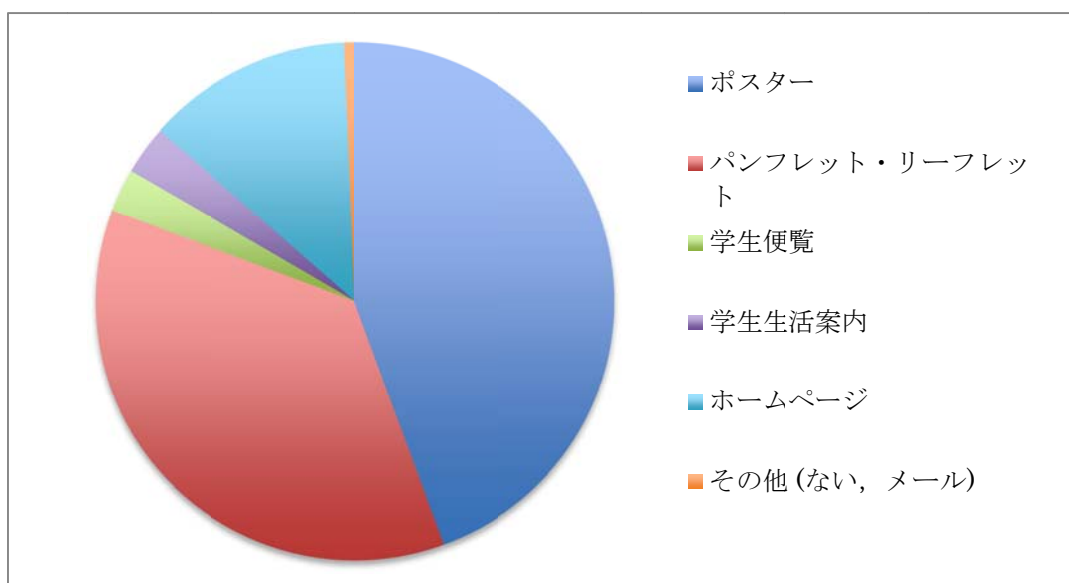
その他の理由には、以下の記載がありました。

- ・自らが言われた相手ではなく、他の周りの人を納得させる人間に成長しよう
と決意したから
- ・相談したら余計にこじれそうな気がした
- ・当人に直接注意したことも、しないこともある。
- ・研究室学生全員がそのような扱いを受けているため
- ・いつものことだからと思った。
- ・職場の同僚に話したが、愚痴として言えば解消したから
- ・相談すべきと思わなかったから
- ・会議等公的な場でかなり高圧的な態度を取ることも多く非常に問題である
と考えるが、記載すると個人が特定されるので詳しくは書けない。

もしよろしければ、被害にあった時の状況をもう少し具体的に記述していただけますか。
--

【内容の概要については別紙参照】	回答者数	35
------------------	------	----

大学内でハラスメントに関する次の印刷物（ページ）等を見たことがありますか（複数回答可）	回答数	割合(%)	全回答者に対する割合(%)
ポスター	131	71.1	48.6
パンフレット・リーフレット	107	58.1	39.7
学生便覧	8	4.3	2.9
学生生活案内	9	4.8	3.3
ホームページ	38	20.6	14.1
その他(ない, メール)	2	1	0.7
計	184		
未回答	85		



ハラスメントに関する印刷物等について、見たことがあると思われる回答者の中ではポスターが最も多く、次いでパンフレット・リーフレットとなっています。

大学には相談窓口として、ハラスメント相談員がいることを知っていますか。	回答数	割合(%)	全回答者に対する割合(%)
知っている	162	77.5	60.2
知らない	47	22.4	17.4
計	209		
未回答	60		

ハラスメント相談員の存在については、77%が知っていると回答しています。本設問に未回答の人数60名を「知らない」に加えても、およそ60%が本学にハラスメント相談員がいることを認識していることになります。

ハラスメントに対する改善策として、重要だと思われることはどのようなことですか。（複数回答可）	回答数	割合(%)
ハラスメントの実態調査を定期的実施する	83	40.6
ハラスメント防止のための講演会等を定期的実施する	49	24.0
どのような行為がハラスメントに該当するのか周知する	132	64.7
ハラスメントに関する相談窓口を外部にも設置する	49	24.0
ハラスメント相談員の氏名・連絡先等の周知を徹底する	48	23.5
ハラスメント相談員の人数を増やす	15	7.3
ハラスメント行為を行った加害者の氏名を掲示等により公表する	37	18.1
その他(指定してください)	32	15.6
回答者数	204	
未回答	65	

その他には、以下の記述がありました。

- ・ハラスメントをするような人は講演会へは参加しないし、自覚も無い
- ・何をしても絶対に改善されないと思う
- ・この先つらいことはいくらでもあるから我慢すればいい
- ・全職員に年1回程度、ハラスメント研修(教育)の受講を義務化する。
- ・本人はなかなか言い出せないので友達含めて周りがサポートする環境が必要。
- ・ニュースや裁判等で公にする。
- ・ハラスメントアンケートを定期的にとる。
- ・上に立つ人に対するハラスメント教育の実施。
- ・事務職員の定期的な意識チェック、研修制度の実施
- ・これまでも色々取り組んでいると思いますが、継続した研修会等を行うしかないと思います。
- ・ハラスメント行為をした人を適切に処罰し、そのことを周知する。氏名の告知はなくても良いと思うが程度による。
- ・学長以下人事にかかわる人たちの人を見る目を養うこと。
- ・ハラスメントに対する理解が一般企業より低いように感じます。また、相談窓口があっても理解が低いので、改善されるように思えません。
- ・再発防止のための罰則規定の強化
- ・性格や素行も十分わかったうえで職員を採用する。
- ・講演会なども有効ですが、全員参加の講演会、研修でないという意味がないです。
- ・Eメールでも行えるようにしていただければ幸いです。

15. 職場環境や学習環境をよりよくするために大学に望みたいことを自由に記述してください。

【内容の概要】	回答者数	52
---------	------	----

キャンパス・ハラスメントの事例としてこのようなことが該当すると思われています。
(設問No.1 1から回答の概略をまとめたものです)

- 何をするにも、デリカシーなく言うてくる。
- 相手の立場を考えない非常に一方的な批判を受けた。
- 人格を否定するようなことを言われた。
- 送迎や私的な食事を自分の車で行うよう命令された。
- 指示、指導なく、すべてわかって当たり前という言い方をされた。わからないことも調べてと一言。
- 対応について、しつこく暴言を受けた。
- 会議の開催通知が来ない。
- 普通の感覚では突っかからないところでものすごく突っかかってくる。
- 事実無根の誹謗中傷を吹聴する。
- 性的な発言をするものについて、普段の会話の中で日常的に行われている。
- 「お前はごみ以下だ」などの暴言を浴びせられる。